

台湾ファミリーマート全店において 日本国内のレジャーチケット商品を販売

JTB グループで e-コマース事業を担う株式会社 i.JTB（東京都品川区、代表取締役社長：鈴木雅己、以下、i.JTB）は、台湾国内にてファミリーマートを運営する全家便利商店股份有限公司（台北市中山區、董事長：葉榮廷氏）、ならびに店舗内設置のマルチメディア情報端末「FamiPort（Fami ポート）」の運営会社である全網行銷股份有限公司（台北市中山區、董事長：葉榮廷氏）と業務提携を行い、台湾ファミリーマートに設置された「FamiPort（Fami ポート）」を活用し、日本国内の遊園地をはじめとするレジャーチケット商品の販売を開始いたします。

台湾から日本を訪れる旅行者数は、年間 4,167,512 人（2016 年訪日者数※日本政府観光局）にのぼり、台湾旅行者にとって日本は安定的に人気の旅行先となっています。文化的にも親日傾向が強く、リピート率の高いことが台湾の訪日旅行者の大きな特徴であり、より新しい体験を求め大都市のみならず地方都市を訪れる傾向が年々、高まっています。

i.JTB は、そのようなニーズに応え、日本全国の魅力的なレジャーコンテンツを台湾の方々に紹介することで、日本における価値ある体験と新たな感動の提供を目指します。

世界屈指の密度で台湾全土に店舗展開されているコンビニエンスストアは、台湾の方々にとって生活に密着した身近な存在であり、中でもファミリーマートは、台湾国内 3,112 店舗（2017.7 月末現在）を展開する大手チェーンとして、店舗内での物品販売のみならず、店舗内に設置されている「FamiPort（Fami ポート）」で、決済サービス、各種交通券、イベント、レジャーチケット販売など、多岐に渡るサービスを提供しています。

訪日前に身近なファミリーマートにて、自国の言葉と自国の通貨を使って日本全国のレジャーチケットを事前購入できるという安心感と、旅先での時間の有効活用とストレスフリーを提供する新たなホスピタリティの提供が期待できます。

2017 年 9 月 5 日より、台湾全土のファミリーマート全店 3,112 店舗において、首都圏、関西、沖縄など 14 のレジャー施設より販売を開始し、日本全国約 150 のレジャー施設の販売拡大を目指します。

〈FamiPort 画面イメージ〉



＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞
J T B 広報室 03-5796-5833